



検討会報告（案）について

2025年6月19日

環境省 大臣官房 環境経済課 環境金融推進室

検討会報告（案）について

- 第13回において、検討会の今後の重点取組事項の一つに「中長期的なグリーンファイナンスの在り方について（仮称）」の策定を挙げ、以下のような作業方針をお示したところ。
 - ✓ グリーンファイナンスに取り組む意義や機能を改めて明確にする観点から、グリーンファイナンスの短期・中長期的なメリットや、環境改善に向けた他のファイナンス手法との関係等について、検討会報告としてとりまとめる。
 - ✓ 第12回の議論を踏まえ、事務局でドラフト（数ページ程度を想定）を作成の上、4～5月にかけて検討会委員を含む関係者と調整、6月頃に開催予定の第14回検討会で議論し、公表に向けて調整したい。
- お示したスケジュールに沿って、5月中旬に委員の皆様へ事務局作成のドラフトを送付し、コメントをいただいた。本日は、コメント反映版の案をベースに御議論いただく。
- なお、公表に向けたスケジュールは以下を想定。（本日の議論の状況によっては変更の可能性あり）
 - ✓ 6/25(水)：委員の皆様からの書面コメント（2回目）〆切
 - ✓ ～1週間程度：委員の皆様へ最終版送付
 - ✓ ～1週間程度：環境省より公表

検討会報告（案）概要

「グリーンファイナンス市場の中長期的な発展に向けて」（案）概要

1. はじめに

- ・ 環境分野における民間資金活用の重要性に関する国際・国内の議論

2. グリーンファイナンスの機能

- ・ サステナブルファイナンスや環境政策におけるグリーンファイナンスの位置付け
- ・ グリーンファイナンスの実践類型（多様なアセットクラス・プロセスにおける取組、様々な形態の存在）

3. グリーンファイナンスの意義及びメリット

- ・ 短期：直接的な経済的利益
 - 資金調達者：事業の成長や新たなビジネス機会の獲得、環境や社会への貢献を通じた構成員のモチベーションの向上や部署間の連携強化、それらの取組の対外的なアピール、投資家・資金調達先の拡大等
 - 金融機関・機関投資家：環境への悪影響の抑制を通じた投融資リスクの逓減、顧客との関係強化や新規開拓、新たな収益機会の獲得や、対外的なアピール等
- ・ 中長期：環境という経済活動の基盤を守ること、中長期的に経済活動が安定し、経済的利益を守ることにより貢献
 - 資金調達者：経営環境が安定し、持続的成長や競争力の向上につながる
 - 金融機関・機関投資家：バランスシートやポートフォリオの収益の安定・強化やリスク管理の強化
- ・ 資金の最終的な出し手である預金者・個人投資家・最終受益者にとっては、現在及び将来の生活の質とウェルビーイング向上という価値を生み出す

4. 市場参加者への期待

- ・ 金融機関（投資家・銀行等の資金提供者）、資金調達者、資金調達支援者（証券会社・第三者評価機関等）ごとの期待
 - 既にグリーンファイナンスに積極的に取り組んでいる主体については、市場環境や国際動向等により一時的にスタンスに変化が生じたとしても、グリーンファイナンスがもたらす価値を踏まえ、中長期的な取組として続けることへの期待
 - 徐々に進めている、あるいは着手段階の主体については、グリーンファイナンスの機能及び意義、取組のメリットへの認識を深めつつ、いずれは市場に参加いただくことを期待

5. 環境省としての今後の検討・取組の方向性

- ・ インパクトレポートの事例集作成、ローン市場の更なる発展に向けた取組、グリーンファイナンス市場の更なる裾野の拡大、市場参加者とのコミュニケーションや情報収集・発信機能の強化等に取り組んでいく

本日御議論いただきたい事項

① グリーンファイナンスの意義及びメリットについて、他に盛り込むべき観点はあるか。

- ✓ たとえば委員の皆様からは、以下のようなコメントをいただいた。
 - ・ 中長期的な意義について、金融市場におけるリスク回避に言及したり、環境基本計画を参照してもよいのではないか。
 - ・ 中長期的な意義はあくまで中長期の話であり、持続的な成長等の保証はなく、正直なところ実感しがたい。
- ✓ また、グリーンファイナンスの意義及びメリットと、市場関係者による実際の取組の間には、一定のギャップが見られると思われるところ、どのように考えるべきか。

② 市場参加者への期待について、他に盛り込むべき観点はあるか。また、どの程度まで具体化すべきか。

- ✓ たとえば委員の皆様からは、以下のようなコメントをいただいた。
 - ・ 資金提供者：アセットオーナープリンシプルとの言行一致等、投資家別の具体的な期待事項を書いてはどうか、等
 - ・ 資金調達者：継続的な資金調達への期待、レポーティング等を通じた市場との対話、等について記載してはどうか、等
 - ・ 資金調達支援者：質の担保の最前線であることを強調すべき、透明性・公平性の担保について記載してはどうか、等

③ 市場参加者への期待について、どのようなトーンで書くべきか。

- ✓ たとえば委員の皆様からは、以下のようなコメントをいただいた。
 - ・ べきである、等、より強いトーンで書くべきではないか。
 - ・ 「期待している」を繰り返しすぎているのではないか。